

| 施策番号 | 施 策 名 | 予算額(百万円) | |
|---|---------------------|----------|--------------------------|
| 121 | 生涯学習の推進 | 608 | |
| <p>【2010年度の目標】 住民一人ひとりが自己実現をめざして学習を継続し、生きがいのある生活をおくれ、学びたい人がだれでも、いつでも、どこでも、興味や必要に応じて学ぶことのできる生涯学習社会が実現しています。 社会、経済の変化に対応するため、社会人を中心に、高等教育機関、高等学校などにおいてのりカレント学習が盛んになり、その学習した成果が職業生活の中で適切に評価される環境になっています。</p> | | | |
| 項 目 | 基準年度の状況 | 1999年度実績 | 2001年度の目標 (2010年度の目標) |
| 住民一人あたりの生涯学習にかかる時間 | 11.5分/日 (1992年度) | — | 15分/日 (23分/日) |
| 公立学校施設(校舎)の地域開放率 | 18.6% | 19.2% | 40% (100%) |
| 住民一人あたりの公立図書館利用回数(年間) | 1.7回/人 | 1.86回/人 | 2.3回/人 (3.4回/人) |

これまでの取組

平成10年7月設置された三重県生涯学習審議会より「これからの三重県における生涯学習のあり方について」答申を受けて平成12年度中に「三重県生涯学習振興基本計画(仮称)」を策定します。現在、同審議会は第2期を迎え、平成14年度から実施の学校完全週5日制を前にして、「土・日曜日の子どもの活動を地域がどのように支援するか」について、さらに審議をいただいています。

「まなびいハイスクール推進事業」では、県民のニーズにできるだけ応えるような講座とするよう内容を見直し、実施しました。

さらに生涯学習センターにおいては、情報収集・提供、学習相談、指導者の研修、講座の開設、調査研究を行い、視聴覚教育に関する機器及び教材の整備を推進しました。

また県内図書館総合目録データベースを整備し、県内図書館の相互貸借や図書館運営に関する情報交換や相談に応じ、図書館未設置町村への図書貸出しも可能にしました。

平成13年度取組

平成13年度においては、住民一人ひとりが自己の実現を図り、生涯学習の機会を持つことのできる生涯学習社会を構築するには、行政機関だけでなく、県民、民間団体、学校、企業などによる取り組みが必要であることから、全国生涯学習フェスティバルで培ったノウハウを活かし、県民等との協働を進め、生涯学習のネットワーク化を図ります。

また、学校週5日制が、平成14年度より完全実施されることから、地域・家庭・学校の連携を拡げ、土・日における子どもの活動をどのように支援していくかについて三重県生涯学習審議会から答申をいただきます。

県民にとって身近な生涯学習施設である図書館においては、現行の三重県図書館総合目録データベースシステムや資料搬送システムの改善をすることで、住民サービスの向上を図り、県民の要求に応えられる資料提供、生涯学習支援、地域文化の創造に貢献できる図書館を目指します。

主な事業

1 生涯学習みえ総合推進事業

(8,714(8,714)千円)

【(101)生涯学習総合推進事業】〔教育委員会〕

完全学校週5日制に向け、子どもの活動を地域でどのように支援するかについて、三重県生涯学習審議会において検討するとともに、第12回全国生涯学習フェスティバルに集結した学習者・団体・企業及び行政をネットワーク化し、学習機会の組織化・体系化を図り、協働による事業の具体方策の検討を行います。

2 生涯学習システムネットワーク整備事業

(35,119(35,119)千円)

【(201)生涯学習センター事業】〔教育委員会〕

県と市町村との連携により、生涯学習情報のネットワーク化を図り、県民に対して各種の学習情報を適切に供給するとともに、学習の内容や方法について助言援助する学習相談活動のシステム化を推進します。

- 3 社会教育研修支援事業 (2,933 (1,467) 千円)
 【(201)生涯学習センター事業】〔教育委員会〕
 生涯学習の振興を図るうえで障害となっている、地域・年代の格差、生涯学習行政の不整備等の課題を解決し、より一層の効果を発現させるため、行政及び民間双方を対象とした生涯学習に係る研修の機会を提供します。
- 4 (新) II革命時代の三重県図書館づくり事業 (12,260 (12,260) 千円)
 【(203)図書館整備充実事業】〔教育委員会〕
 県内全域の住民が地域の図書館等から県立図書館を利用できるよう、県立と市町村図書館のコンピュータ等による連携の充実を図るとともに、宅配便等による迅速な資料搬送システムを確立します。
- 5 まなびいハイスクール推進事業 (4,607 (4,607) 千円)
 【(403)地域教育充実事業】〔教育委員会〕
 県内高等学校等が有する人材と施設・設備を開放し、各高等学校等の特色を生かした専門的知識、技術及び高度な教養に関する講座を地域住民に提供します。
- 6 青少年ボランティア養成事業 (2,194 (2,194) 千円)
 【(403)地域教育充実事業】〔教育委員会〕
 青少年を対象としたボランティアに関する研修講座等を開催し、中学生や高校生が学校の枠を越え、他校の生徒とともに学習し、身につけた知識や技術をもとに各学校のリーダーとして活動できるようにします。
- 7 家庭教育子育て支援事業 (6,410(4,928) 千円)
 【(403)地域教育充実事業】〔教育委員会〕
 基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやりなど、子どもの「生きる力」の基礎的な資質や能力を培う上で重要な役割を担う家庭の教育の支援を図ります。
- 8 地域活動支援事業 (9,900 (9,900) 千円)
 【(403)地域教育充実事業】〔教育委員会〕
 県内で広域にわたり社会教育活動を行っている団体の行う事業について広く公募し、地域教育の機能充実という目的に則した事業に対して経費の1/2を支援し、地域活動の活性化を図ります。

主な見直し項目

- 「全国生涯学習フェスティバル開催事業」は、事業終了による廃止。
 「広域学習推進事業」は、一定の成果を得ため廃止。